

2023年4月20日
株式会社SVPジャパン

SVPトレンド調査 「Z世代のサステナブル・エシカル消費について」 ～サステナブル積極層と無関心・消極層は、ほぼ同レベルで存在～



会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、「Z世代のサステナブル・エシカル消費について」をテーマにインターネット調査を実施。一都三県（東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県）の男女1,000名が回答。その調査結果をレポートにまとめた。

■ 調査目的

Z世代のサステナブル消費やエシカル消費に関する考え方を調査することで、同世代の消費とサステナビリティに対する価値観や他世代との違いを把握する。

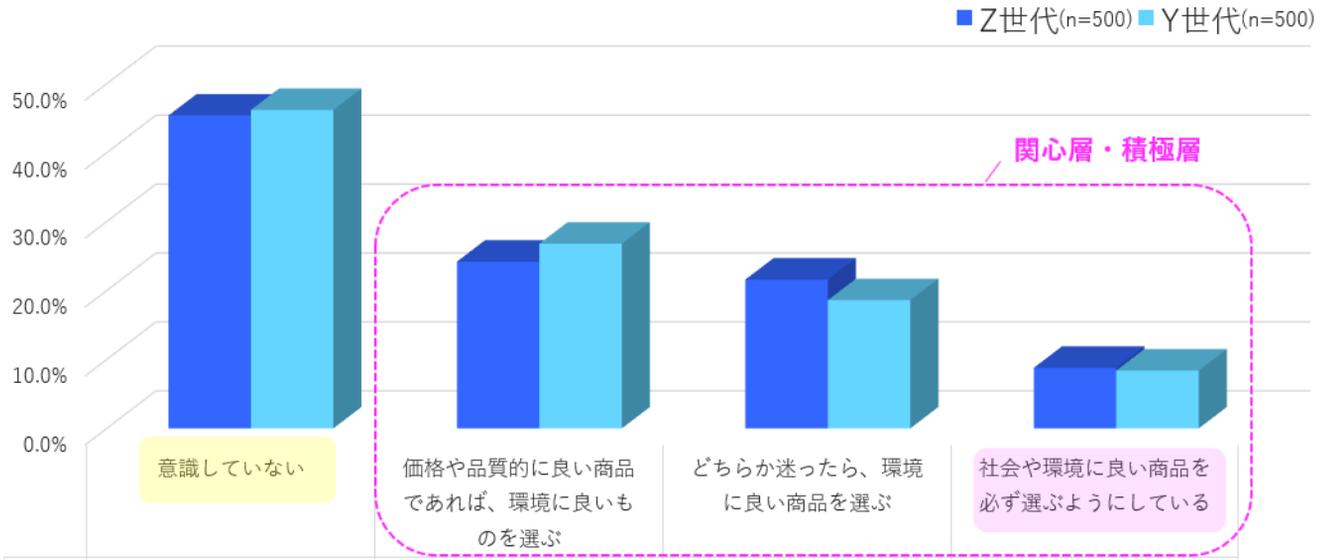
■ 調査概要

調査時期	2023年3月
調査方法	インターネット調査
調査対象	18歳～26歳、30歳～42歳の男女
有効回答数	18歳～26歳 男女500名、30歳～42歳 男女500名 の合計1,000名
調査機関	アイブリッジ株式会社

■ 本レポート構成

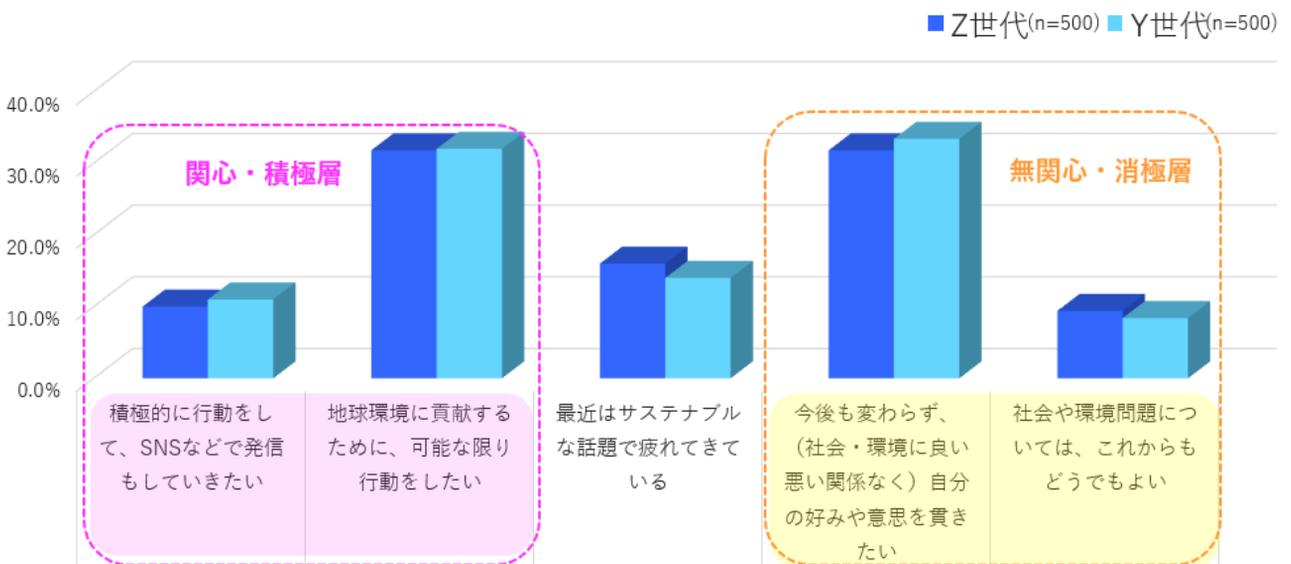
- ・調査概要
- ・調査結果サマリー
- ①《サステナブルの現状》②《サステナブルの認知・理解・関心・行動》③《サステナブルな行動と実施理由》
- ④《サステナブル消費の妨げ要因》⑤《今後の取り組み意欲》⑥《課題と提言》
- ・アンケート調査結果（設問8）

■ 設問例 「買い物をする際に、社会や環境に良い商品を意識して選ぶようにしていますか」



- ・『意識していない』が最も多い結果であった。
- ・それに対して、『社会や環境に良い商品を必ず選ぶようにしている』層は非常に低い。
- ・『商品選択を迷った場合』、あるいは『価格や品質的に良い商品であれば環境に良いものを選ぶ』層を含めると、半数以上いることがわかる。

■ 設問例 「社会や環境に対する行動について、どう思いますか。また、今後、どうしていきたいですか。」



・『積極的に行動をして、SNSなどで発信もしていきたい』、『地球環境に貢献するために、可能な限り行動したい』と答えた層はZ世代、Y世代ともにほとんど変わらない。

・他方、『社会や環境問題については、これからどうでもよい』、『今後も変わらず、自分の好みや意思を貫きたい』というサステナブル無関心・消極層も積極層とほぼ同レベルで存在していることもわかった。

■本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する経済レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員になっていただきますと、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

お問い合わせは、[こちらをクリック](#)



資料請求

お問い合わせ

SVP会員の方は、[こちらをクリック](#)



会員サイト

■次回のテーマ

5月のテーマは、「Z世代の食の意識について」を予定しております。

SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

※5月は、第4木曜日 25日に公開予定です。

[会社概要]

社名： 株式会社SVPジャパン
代表取締役： 橋本 雅
所在地： 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日： 1974年7月1日
事業内容： 会員制のビジネス情報提供サービス
URL： <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部
info@svpjapan.com

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。